2025年度 決算・財政状況

問 財政課 ☎56-0606



2025年度の決算状況と実施した主な事業等をお知らせします。
※各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、合計と一致しない場合があります。

歳 入

会計名	2025年度	2024年度	差引	増減率
一般会計	276億601万円	254億5,375万円	21億5,226万円	8.5%
特別会計	92億65万円	86億1,866万円	5億8,199万円	6.8%
企業会計	18億155万円	16億7,260万円	1億2,895万円	7.7%
合計	386億821万円	357億4,501万円	28億6,320万円	8.0%

一般会計の歳入決算額は2024年度と比べ、21億5,226万円(8.5%)、市税は3億9,661万円(3.1%)増加しました。

市税収入のうち、個人市民税は所得額の増加により2億8,066万円(5.2%)、固定資産税は1億1,219万円(2.1%)増加しました。

歳 出

会計名	2025年度	2024年度	差引	増減率
一般会計	269億2,478万円	243億4,925万円	25億7,553万円	10.6%
特別会計	89億7,656万円	84億6,940万円	5億716万円	6.0%
企業会計	20億7,603万円	20億8,150万円	△547万円	△0.3%
合計	379億7,738万円	349億15万円	30億7,723万円	8.8%

一般会計の歳出決算額は2024年度と比べ、25億7,553万円(10.6%)増加しました。民生費は、児童手当の制度改正や物価高対応子育て応援手当の費用などにより13億1,471万円(12.4%)増加したほか、総務費は、標準化対応システムへの改修事業などで6億2,761万円(18.0%)増加、教育費は、文化の家特定天井等改修事業などで5億3,804万円(12.3%)増加しました。

▼文化の家特定天井等改修事業(7億1,566万円)



▼古戦場公園再整備事業(4億1,519万円)



▼歴史民俗体験施設整備事業(8,195万円)



財政健全化関連指標

健全化判断比率		2025年度	2024年度	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計等における赤字の割合	—	—	12.84%
連結赤字比率	全会計における赤字の割合	—	—	17.84%
実質公債費比率(3か年平均)	財政規模に占める市債等の割合	3.6%	2.7%	25.00%
将来負担比率	将来財政を圧迫する可能性を示すもの	—	—	350.0%

資金不足比率	2025年度	2024年度	早期健全化基準
下水道事業会計	—	—	20.0%

※実質公債費比率(3か年平均)を除き、負数の場合は表示されません。

なお、早期健全化基準を上回ると厳しい財政状況とされ、自主的な改善を要します。

本市はいずれの指標も健全ですが、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」は、2025年度で94.1%と高い状態が続いており、この数値が高いと市独自の事業に充てる予算が少なくなります。引き続き業務改善等によって、限られた予算の中で市民ニーズに合った持続可能な行財政運営を目指していきます。